

## R3 ライフステージ（室賀保育園）\_やまほいく事業【まとめ】

日 時 令和3年10月25日（月）9:00～11:30  
会 場 室賀保育園、鉢巻山  
参加人数 27名…園児22名、引率（園長及び保育士）4名、  
講師（蛭間啓 博士）1名 ※事務局3名

### 【室賀保育園（信州型自然保育認定園）での自然保育（野外散策）】

#### 活動内容：

室賀保育園において、野山を歩き自然に触れて体験する野外散策を企画し、植生や野山歩き分野に造詣の深い蛭間さんに先導いただく形で、自然や野鳥の観察などの体験活動を実施した。

#### ○園庭での説明（注意事項など）

- ・出発前、園庭にて講師の蛭間さんを紹介。
- ・鉢巻山にある自然を観察し、色んな植物を見て触れる事、鳥や虫の声にも耳を傾けて聞いてほしい事などを説明。



#### ○鉢巻山へ移動

- ・園から山の入口まで、側道や歩道などを歩いて移動。
- ・道中でススキなどを手に取り、園児たちに普段同じように見えている種類の植物でも、よく見てみると分かりやすい違いがあることなどを説明しながら進み、30分ほどで鉢巻山のふもとに到着。



#### ○ササの葉を使った工作

- ・山の入口付近ではササの葉を使い、葉の部分折り畳みながらアメの形にし、柄の部分を手で持てるよう工作を实践。
- ・先生方も、教わった作り方を園児たちに説明しながら作成した。
- ・自分たちで作った作品を嬉しそうに手に持ち、ペットボトルで作成した肩掛けバックに入れ、持ち帰った。



#### ○山の中にある自然植物や野鳥の観察

- ・この時期には真っ赤な実をつける「マムシ草」について、草の形から名前が付けられ、赤い実を食べると毒があることなど、園児たちに分かりやすく説明された。
- ・道端にある野蒜（ノビル）や山椒などを手に取って匂いを嗅ぎ、友達にも見せるなど、感じたことをみんなで共有していた。
- ・ワタのような形で種子を飛ばす植物を見つけると、その種が風に飛ばされ、洋服に付いて生息範囲を広がっていくことなど、周りの先生たちに聞きながら学びを深めた。
- ・くるみや栗、どんぐりなどの木の実も肩掛けバックに詰め込んでいた。



## R3 ライフステージ（室賀保育園）\_やまほいく事業【まとめ】

### ○鉢巻山から園への移動

- ・移動する際は2人1組で手をつないで列になり、前後の友達と距離が空くと引率の先生が声を掛けるなど配慮し、安全に気を付けながら行動。
- ・大きな道路を渡る時には、必ず集団となって短時間での横断に心掛けていた。



### ○園庭での振り返り（講師より）

- ・野山には時期に応じて色々な種類の植物、野鳥が生息しているので、保育園の周りなど身近なところにも目を向けて、自然の中から色々なものを見つけてほしい。
- ・園児のみんなが色々なものに興味を持ちながら野山を散策することができて、とても楽しい時間を過ごすことができた。



### 総括（全体のまとめ）

- ・自然あふれる環境が身近にある園児たちも、普段とは違う目線も加えながらの野外散策となり、自然に触れ、楽しみながら自然観察を体験することができていた。
- ・講師の先生に教わったことを、保育園の先生方も園児たちと一緒に学び、自然の中に生息する植物や野鳥に関心を深める貴重な機会となった。
- ・列の後方では、講師の先生の話が行き届かない場面もあるため、人数が多い場合には、アシスタント役として引率の先生などが同じように説明できる形が望ましいように感じた。